

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2025年10月

事業所名 放課後等デイサービス Fc Bombo Jr

		チェック項目	実数			割合	
			はい	いいえ	合計	はい	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	4	100%	0%
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	4	100%	0%
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	4	100%	0%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	4	100%	0%
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	4	100%	0%
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	4	100%	0%
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	4	100%	0%
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	4	100%	0%
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	4	100%	0%
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	4	100%	0%
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	4	100%	0%
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	4	100%	0%
	13	放課後等デイサービス計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	4	100%	0%
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	4	100%	0%
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	4	100%	0%
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	4	100%	0%
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	4	100%	0%
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	4	100%	0%
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	4	100%	0%

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	4	100% 0%
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	4	100% 0%
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	4	100% 0%
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	4	100% 0%
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	0	4	100% 0%
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	4	100% 0%
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	4	100% 0%
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	4	100% 0%
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	4	100% 0%
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	4	100% 0%
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	4	100% 0%
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	4	100% 0%
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	4	100% 0%
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	4	100% 0%
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	4	100% 0%
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	4	100% 0%
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	4	100% 0%
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	4	100% 0%
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	4	100% 0%

保護者への説明責任等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	4	100% 0%
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	0	4	100% 0%
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	4	100% 0%
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	4	100% 0%
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	4	100% 0%
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	4	100% 0%
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	4	100% 0%
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	4	100% 0%
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	4	100% 0%
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	4	100% 0%
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	4	100% 0%
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	4	100% 0%
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	4	100% 0%
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	4	100% 0%
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	4	100% 0%
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	4	100% 0%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2025年10月

事業所名 放課後等デイサービス Fc Bombo Jr

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	屋内と屋外で活動スペースを有効に活用しています。	安心・安全に過ごせるよう、それぞれのスペースを状況に応じて有効に使用して支援に活かしていきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	適切な配置で行っております。	屋外でのサッカー活動の際に、子ども一人ひとりに、目配りができるよう
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	屋内は、完全バリアフリー化されております。その他、視覚的にも分かりやすいよう絵カードを用いています。	屋外のサッカーコートの入り口に段差があるため、今後利用されます方のニーズに合わせて改善致します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	支援前・後に必ず消毒・清掃を行っています。サッカー活動で汗をかいた後は、すぐに着替えられる更衣スペースも用意しております。	運動ゾーン・静かな遊びゾーンなど子どもの特性や状態に応じた環境を整えたいと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	個別で過ごせるスペースがあります。	意思表示が苦手な子に対して、視覚ツールや非言語サインを導入し、自己表現がしやすくなるよう改善を行うように致します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	支援終了後に、毎日職員同士で一日の振り返りを行っています。	振り返りの際に、活動内容だけでなく職員の業務に対する改善点・対策まで話し合うようにします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	ご意見を受け止め、対応致しております。	評価表をもとに職員間で会議を行い、共有・振り返りを行い、改善策を具体化しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	支援前・後に必ず職員でミーティングを行っています。	業務に関する気づいたことを気軽に意見出来る様、ノートなどを設置し、小さな意見まで出せるように致します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	外部評価での結果を踏まえ、改善に努める。	外部評価での結果を職員間で共有し、改善に努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	会社内での研修や外部研修に自発的に参加しております。	職員のスキル向上の為、今後も積極的に参加させていただきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	ホームページに公表しております。	支援プログラムの作成において職員間でも共有し、日々の支援に繋げています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	契約時に保護者・本人との面談、見学・体験を通じてアセスメントを丁寧に実施し作成しております。	ニーズの把握が保護者希望中心にならぬよう、利用者自身の声も入れております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	計画作成前に、職員間で話し合いを行い、観察内容や意見を出し合っています。	児童発達支援管理者だけの考えだけではなく、職員の意見を聞き、個別支援計画の作成を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	個々の支援計画に沿って、支援をしています。	全職員が利用者に対して同じ支援が出来る様、個別支援計画に沿って支援をしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	サッカー活動中などの行動を観察し、社会性・自己調整力などの適応行動を把握しております。	フォーマル、インフォーマルなアセスメント両方をバランスよく活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	本人支援・家族支援・移行支援・地域支援と5領域を反映させた個々のニーズに合わせた個別支援計画を作成しております。	ガイドラインの内容を職員全体で十分に共有し、把握しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	職員全員で意見を出し合い、計画しています。	活動の目的やねらいだけでなく、利用者いかに楽しんでもらえるかを考え立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	利用者ひとり一人の目標やレベルに合わせて、同じ活動でもルールや関わり方を変化させて実施しております。	サッカー活動に重きを置かず、他活動とうまく組み合わせた活動を取り入れています。

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
ハ	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	屋内と屋外で活動スペースを有効に活用しています。	安心・安全に過ごせるよう、それぞれのスペースを状況に応じて有効に使用して支援に活かしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	サッカー活動は、基本的に集団形式だが、活動前後や参加困難児時には個別対応の時間を設けている。	集団形式によっても、個別対応が十分に確保できるようにしております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	支援開始前にミーティングを実施し、当日の支援内容などの共有・役割分担をしています。	見える化・役割の明確化・仕組み化でのチーム連携を強化させています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	支援後には、必ず職員全体で振り返りを行っています。	PDCAサイクルをもとに、振り返り・改善策を話し合います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	職員全体で話し合い、支援記録を作成しております。	職員全体で振り返りを行いながら、作成するようにしております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	必ず3～6か月に一度、計画の見直しとモニタリングを実施しております。	モニタリングだけではなく、何気ないことでも気になることなどがあれば連絡帳や送迎時に相談していただけるようにしております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	サッカー活動を中心としながらも、4つの基本行動を日常的に複数組みあわせるようにしています。	自立・日常生活・創作・地域交流を組みあわせて個別支援計画の作成を行っております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	活動終わりに、「今日の活動で頑張ったこと」を自分の言葉で書いたり話すようにしている。	自己決定する体験を日常的に取り入れて、成功体験を重ねるようにしております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	必要に応じて参加するようにしております。	児童発達支援管理責任者等に加えて、他職員も参加できるようにします。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	多面的に支援ができるよう、学校や病院と連携を図っています。	協力医療機関の梶の木内科、連携を行い、支援を行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	送迎時にお話をして、情報共有をしております。	行事予定など情報提供を行い、送迎が遅れる際には予め学校へ連絡しております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	話し合い、情報共有・交換を行っている。	積極的に行ってまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	保護者の了承を得たうえで、提供をさせていただきます。	情報が必要であれば、保護者の了承を得たうえで、提供させていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	必要に応じて助言を受けるようにしております。	今後、児童発達支援センターとの連携を図り、支援の質の向上を目指してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	外出活動で、地域のお子様と交流する機会を設けています。	今後、更に交流ができるような活動を設けていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	参加しております。	これからも積極的に参加させていただきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	常に相談を受け入れる体制を整えております。	保護者の方からの様子・困り事・家庭での様子や小さなことでもなど情報を頂き、共通理解を持つようにしております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	研修は受けていないが、家族に対して支援を行い、相談も受けている。	過去に研修の場を設けていた為、今後、研修の再開を検討いたします。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	契約時、丁寧に説明を行っております。	契約時に丁寧に説明を行っております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	アセスメントで利用者・保護者の希望・考えをしっかりと聞き取りを行っています。	利用者・保護者の希望・考えを取り入れ計画の作成、支援を致しております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	丁寧に説明を行ったうえで、同意を得ております。	内容を理解・納得していただいた上で同意を得ております。

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	屋内と屋外で活動スペースを有効に活用しています。	安心・安全に過ごせるよう、それぞれのスペースを状況に応じて有効に使用して支援に活かしていきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	モニタリング時以外でも、悩みや不安などを相談を受けた際には、助言を行っています。	相談を一時的な対応で終わらせず、助言や必要な支援まで行うようにします。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	保護者も参加できるイベントを行い、保護者同士で交流できる機会を設けています。	今後、様々なイベントを計画し交流の場を設けていきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	苦情窓口を設けております。	苦情や相談等がございましたら、早急に対応致しております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	ホームページにて常時情報の発信や毎月かわら版を発行しております。	日々の活動の様子や行事予定などホームページにて公表しております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	研修を行い、徹底してます。	外部講師を招いて、個人情報保護法の研修を行っております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	定期的に話し合いの場を設けて、ひとり一人にあったコミュニケーションの方法を確保するようにしている。	利用者の特性に合わせて、支援を一本化して関りを致しております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	講演会など招待しております。	外部講師を招いてサーバント開催の講演会に参加、声掛けを行っております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	各マニュアルを契約時、面談時に丁寧に説明しております。	各マニュアルの作成を行い、職員間での周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	計画を作成し、研修・訓練を行っています。	定期的に避難訓練などを行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	契約時のアセスメントで服薬やてんかん発作の確認を行っております。	職員間で利用者に服薬やてんかんがあるかを確認を行っております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	契約時のアセスメントにて、アレルギーの有無の確認と同意書へのサインを頂いております。	おやつ提供の際には、アレルギーの注意をおき、対応いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	安全計画を作成し、定期的に研修や訓練を行っています。	様々な災害ケースを想定し、訓練を行うことで実際に災害が発生した際にも適切な行動・対応が出来るようにしております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	契約時に安全計画や訓練内容を保護者に説明を行っている。	社用車の3列シート以上には、安全装置が備わっていることなど説明を行っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	支援中に気づきがあったらすぐに記入しております。	どんな小さなことでも記録し、職員間で共有するようにします。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	虐待防止委員会・虐待防止研修を徹底して行っている。	虐待防止委員会・虐待防止研修を外部講師を招いて行っており、必要に応じて回数を増やします。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	当社では、切迫性、非代替性、一時性を伴う場合以外は行いません。(利用者の尊厳を守りながら、安全かつ安心な環境を提供することを最優先に考え、最善の支援をしております)	当社では、切迫性、非代替性、一時性を伴う場合以外は行いません。(利用者の尊厳を守りながら、安全かつ安心な環境を提供することを最優先に考え、最善の支援をしております)